

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
 ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号: 500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
 ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号: 500251 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力をお願い致します。
 ★JOSO脱プラ基金は注文番号: 500254 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力をお願い致します。

COOP-JOSO News Letter

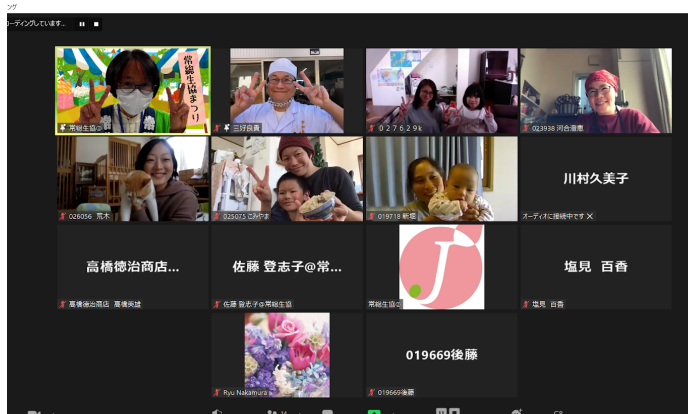
2021年12月3回号 発行: 常総生協広報G



2021年度活動テーマ「笑顔で育む免疫力」

今年は大盛況！ 11/20(土)生協まつりを開催しました！

毎年11月に開催されていた「生協まつり」ですが、今年は初の試みとなるオンライン(Zoom)生協まつりを開催しました。**実際の参加者66名、延べ参加者165名**、平均して1名当たり約3セッション参加しました。参加いただいた生産者の皆様、協力いただいた組合員の皆様へ改めて御礼申し上げます！



例年守谷市本町の生協本部で「生協まつり」を開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、オンラインZoom生協まつりの開催となりました。1チャンネルにつき10:00～15:00の間で各45分、合計3チャンネル分開設し、計15生産者の皆様に御協力いただきました。

また、zoom操作・司会者は理事、職員中心におこないました。事前に生産者との顔合わせ会、Zoom操作など初めての経験ばかりでしたが、大きなトラブルなく終える事ができました。
 (※写真右: Zoom操作者と司会を行う生協職員)



生協まつりの前には組合員さんがZoomを学ぶ「Zoom学習会」を開催しました。その成果もあり、プログラムによっては参加人数がおよそ30名と、例年対面していた交流会よりも多い人数になり、改めてオンライン開催の可能性を感じた「生協まつり」でした。
 次週より順次生協まつりの開催報告をおこなっていきます。お楽しみに！

タイムスケジュール		
チャンネル I	チャンネル II	チャンネル III
★プレゼンテーション型★	★座談会型★	★体験型★ ★プレゼンテーション型★
9時45分～ ●開会式● はじめの挨拶		
10時～ ニッコー	中津ミート	グリーンリーフ
11時～ 鎌倉ハムクラウン商会	塩屋	宇和島織り物工房 みよし
12時～ 石岡鈴木牧場	ホクレン	金庄 (かねしょう)
13時～ 庄内協同ファーム	おきたま興産舎	プレス・オールターナティブ 第3世界ショップ
14時～ 秋川牧園	アーダブレーン	高橋徳治商店
15時～ ●ビンゴ大会●		
15時45分～ ●閉会式● おわりの挨拶		

2011年3月11日の東日本大震災に伴って発生した東京電力福島第一原発事故について、東電の旧経営陣3名に対して刑事責任を問う裁判は一件のみ開かれました。それが「福島原発刑事裁判」です。



2012年9月には常総生協組合員のところへ、告訴団長の武藤類子さんが「茨城・千葉の皆さんとは同じ被害者としてゆっくり話したい」と言ってきてくださり、「共に手を取りつながりながら、この事故の責任を問うてゆきましょう。告訴団にぜひごいっしょしてください。」と呼びかけがありました。生協組合員の中には、呼びかけに応じて告訴人となり共に福島刑事裁判に参加されている方が何人もいらっしゃいます。

この裁判は、2019年9月東京地裁による一審判決で「全員無罪」が言い渡され、検察官役の指定弁護士はこの判決に控訴していました。2年を経て、2021年11月2日（火）に東京高等裁判所で控訴審が始まりました。公判が始まる前の約1時間に、訴訟支援団の呼びかけで行われた東京高裁前での「ヒューマン・ディスタンス・チェーン」（隣の人とリボンを持ち合って高裁を囲む）に参加しましたので報告します。



つくば市の公民館にて。中央奥が武藤類子さん

【一審の経過】

この裁判は2012年、全国約15,000人が刑事告訴・告発したことに始まりますが、検察庁は2度不起訴としました。それに対して告訴団は、一般有権者からなる検察審査会への申し立てを粘り強く行って、1度目は「起訴相当」、2度目に起訴議決が出てついに被疑者、勝俣恒久、武黒一郎、武藤栄の3人は「強制起訴」となりました。容疑は、《大津波が来れば、原発事故によって被害が起こると分かっているながら対策を怠ったことによる、業務上過失致死傷罪》です。大きな注目を集める中、2017年6月にスタートした東京地裁での第一審は、2019年9月の判決まで異例のハイスピードで38回に及ぶ公判が開かれました。

法廷で明らかになった事として、東電は社内で事故の原因である（15mの）巨大津波を予測し対策工事を計画していたにもかかわらず、3名の旧経営陣の判断で対策は隠匿され、実行されなかったことが文書や証言で明らかになりました。また、原発事故の象徴的被害の一つ、「双葉病院」事件の実態も明らかにされました。原発から南西4.5kmの地点に位置したこの病院には、436名全員避難の指示がでたものの、原発の爆発で大量の放射性物質が拡散したために、自衛隊は防護服が届くまで救助向かえなかったり、次々起こる爆発で自衛隊に待避命令がでたりと、救助は難航しました。バスに乗れても長時間受入れ先を探す間に車中で亡くなる方もありました。全員避難までには4日を要し、最終的に44名の方が亡くなりました。原発事故による放射性物質の拡散が無かったら、こうではなかったでしょう。

しかし、2019年9月19日、東京地方裁判所の永渕健一裁判長はたくさんの証拠を無視して3人を「無罪」とし、「原発事故以前の日本社会には原発の絶対安全を求める認識はなかった」と判じたのでした。驚きの不当判決だと思いました。



この判決に対して9月30日、検察官役を務める指定弁護士は「原子力行政に忖度した判決だ」と控訴を申立て、2年を経た2021年11月2日、東京高等裁判所での第二審初日を迎えるに至りました。

【ヒューマン・ディスタンス・チェーン】

東京高等裁判所前には300人を超える人達が駆けつけ、支援団の方が感染対策のために用意してくれた「黄色いリボン」を介して手を繋ぎ、高裁を囲むように広がりました。傍聴券（わずか30席）の抽選発表を待つ間、支援団・告訴団、代理人弁護士、福島の方々のリレートークがありました。



【武藤類子さんのお話】

なかでも、告訴団長 武藤類子さんのお話は、一言一言が胸に残りました。

「一番の不当判決からの2年間、悔しさ、納得できない思いを忘れることはできなかった」「その間に、福島ではいろいろなことが起き・・・オリンピックの聖火リレーが帰還困難区域のすぐそばでも行われ、2年後の汚染水の海洋放出が強引に決められ、県民健康調査による甲状腺がんとその疑いは266人に達したけれども検査の縮小論が繰り返されている。福島イノベーション・コースト構想によって莫大な復興予算をかけて大規模施設が建設され、私たちが思うような復興とは程遠い形になっていく」、「原発事故さえなかったら・・・」「この2か月の間には、共に裁判に通った人見やよいさんを癌で、飯館村の長谷川健一さんを甲状腺がんで亡くしたこと」、「10年の間にはたくさんの仲間が天国へ旅立っていったこと」「原発事故のすべての被害者のためにも、裁判の場で最も責任のある3人の罪を裁いてほしいと心から願う」「東京高裁の裁判官には現場検証・新たな証人尋問を行ってほしい」「二度と同じようなことが起きないために、事故が起きた責任を曖昧なままにしては、あらゆる命の安全が最優先される社会に変えていくことはできない」「私たち被害者にとって、裁判所は正義の砦」「みなさん、東京地裁の不当判決を覆すために、どうか力を貸してください」

【これまでとこれから】

10年前、福島原発事故でわたし達の住む茨城・千葉は「ホットスポット」と呼ばれる汚染地域となりました。あの時、私たちはどれほど子どもたちを心配したことでしょう。田畑も海も汚染され、生産者の方々はどれほど大変だったでしょう。放射能はわたし達の生活を一変させ、分断させました。福島の方たちを思うと胸がキリキリとして、誰かの犠牲の上に成り立つ社会など、子どもたちに引き継がせてはいけなさと心に誓いました。けれども、問題は一つ解決していないのに、10年の間に少し忘れたり、薄れたりしてしまったかもしれません。類子さんの言葉にハッとしました。裁判の再開をきっかけにして、2度と繰り返さないために、事故の責任を問うていくことを、汚染地域に暮らしてきた者として共に考えていきたいです。

次回公判は2022年2月9日となりました。より一層の応援をお願いします。

【本の紹介】

武藤類子さんの著書 「10年後の福島からあなたへ」 大月書店

原発事故から10年間。福島ではどんなことがあったのか、2012年5月から2020年3月までに著者がさまざまな所に寄せた文章を収録。目で見ているような福島の豊かな自然の描写と共に、福島での10年の歩みと思いが、丁寧な言葉で綴られています。ぜひ手に取って、知ってほしい一冊。

特別価格 1,500円（定価1500円+税のところ、税無しでOK）。9冊限定。購入希望の方は生協にお電話ください。



〇三里塚「野菜セット」信頼と感謝！

いつもありがとうございます。三里塚さんからお手紙をいただいて嬉しかったです。顔が見える...以上に文が読めるとより信頼と感謝が深まります。いつか畑見学してみたいです。

三里塚さんの玉ネギについてご説明で納得致しました。ヤサイも生きている！ありがたい。泥を洗い目には見えぬ虫をつけ置き洗いし、あースーパーの手間いらずヤサイは、ラク！なんて、そんな日も確かにあるが別物だ！

(柏市 Mさん)

〇魚肉ソーセージ美味しいです

最近、魚肉ソーセージがないように思いますが、いつも楽しみにしています。ぜひ、またお願いします。

(つくばみらい市：Mさん)



御意見ありがとうございます。商品名「お魚ソーセージ」次回は12月4回に企画予定ですので、ぜひご利用ください。

(商品部 横関)

〇はなうた家さんのりんご

りんご（シナノスイート）とても美味しかったです。スーパーの1個98円の安いりんごに比べると満足感があります。（我孫子市：Iさん）

「はなうた家」のりんご。あれから登場しないので心配していました。（龍ヶ崎市：Iさん）

御意見ありがとうございます。「はなうた家」さんのりんごですが、11月3回よりりんご(サンふじ)の企画がスタートしています。通常は袋掛けして外皮の色ムラやスレを防ぎますが、サン(太陽)ふじは袋掛けをせず、太陽の光をたっぷり浴びたりんごをお届けします。若干外皮に色ムラがありますが、美味しさは折り紙つきです。ぜひご賞味ください。

(商品部：小宮山)

〇りんごの季節になりました

王林！なんといっても香りが大好き、楽しみです。（龍ヶ崎市：Sさん）

御意見ありがとうございます。りんご（王林）は11月下旬～12月5回号まで企画予定です。産地は山

形県→長野県へのリレーしていきます。ぜひご賞味ください。（商品部：小宮山）

〇供給部News

あべchan.comの大ファンです。続きを楽しみにしています。出版したら買いたいくらいです。

(土浦市：Mさん)

〇ハム、ソーセージが美味しい！

10月3回で初めてたのんだ鎌倉ボンレスハム400gとても美味しかったです。ぜひ、また企画して下さい。・ポロニアソーセージレッドベルがしばらく取り扱いがありません。冷凍で在庫にしておくのに便利で、なおかつ美味しいです。また企画お願いします。（取手市：Tさん）

御意見ありがとうございます。常総生協の畜産加工品は、調味料(アミノ酸)、着色料、増粘剤等不使用で素材の味を活かした原材料となります。こうした御意見を参考に今後も定期的に企画を入れていきますので、引き続きよろしくお願いします。

(商品部：小室)

〇水産のイワシ丸干し

商品（ウルメイワシ丸干し）とてもおいしかったです。再企画して頂けないでしょうか。焼くとすぐパリパリになってしまいがちですが、さっと蒸すか、一度よく湿らせてから少しだけ炙るととても良かったです。小さいのにとても味がのってました。よく噛むほど・・・常総の商品として、これぞ！と思いますが・・・



御意見ありがとうございます。ご要望にお応えし12月2回138番(水産ページ)にて掲載予定です。（商品部：横関）

〇カタログ1ページが変わりましたね。

カタログ1面に生産者の紹介を載せるのいいですね。品質を伝えることで価格への納得が得られるようになることを期待します。記事内容や色合い写真もいいなと思います。

(つくば市：Sさん)